

なみえ のいま

第9号
令和4年10月

つながりと、自助共助を考える



新しく完成した地域の指定避難所「幾世橋防災コミュニティセンター」幾世橋住宅団地らいふく自治会の皆さんで備品や設備を確認し、避難時の行動について意見を出し合いました。

高瀬川溪谷写真展

浪江の美しい景色といえば、きっと多くの方が思い浮かべるであろう『高瀬川溪谷』

現在は地区のほとんどが帰還困難区域に指定されており、美しい景色を愛でることができません。

紅葉のシーズはもちろんです、実は紅葉に負けないくらい若葉の時期が素晴らしいとお聞きしました。

せめて写真展を通して高瀬川溪谷の四季を楽しんでいただきたく、立入許可を取り、地元町民のご案内のもと通行・撮影をしました。

以前と変わらず美しい景色や、一方で手入れできずに変化している箇所もあるかもしれません。「高瀬川溪谷の今」を見ていただく写真展です。

写真は季節ごとに今年度4回、道の駅なみえのギャラリーに展示する計画で、春と夏の展示をこれまでに終えました。

散策気分を味わえるよう地図も設置し、思い出や感想など記入できるよう付箋を用意しています。

春夏の展示の際は「早く鮎釣りしたい」「一日も早く元に戻りますよう願っています」という町民の声や、「通行可能になったらぜひ行ってみたい」「素晴らしい景色、秋も見てみたい」と写真で初めて高瀬川を知った方のコメントもありました。

写真をじっくりご覧になっている方に声をかけると、「高瀬川では仕事仲間とよく芋煮会をやりました、通勤で山麓線を通っていたから思い出しますね」と思い出を教えてくださいました。

秋の展示は11月下旬ごろ、冬の展示は2月下旬ごろを予定しています。

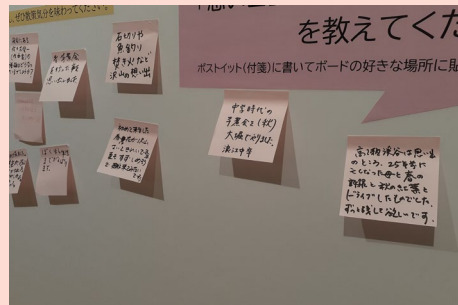
情報発信の取り組みとして、地域の皆さんの思い入れのある“高瀬川溪谷”の写真展を実施しました。



▲若葉と青空のコントラスト



▲正面に見える三角形の山が戸神山



続報 請戸住宅団地『海の見える丘自治会』

以前からお伝えしている『新たなつながりづくり』の続報です。

令和4年4月、請戸住宅団地に新しく自治会が誕生しました。

団地が完成し入居から1年半、準備会を経ての発足です。

この自治会、名称がとても特徴的で、その名も『海の見える丘自治会』高台になっている集会所からは海が観えるのです。

その集会所で準備会会議中、「名称案はどうでしょうか・・・」と話している際にパッとひらめいた方がいました。

会長は「これから団地の住民同士、顔の見える関係を築いていきたい」とお話しされています。



▲設立記念に集会所の庭で撮影

PICK UP 地域防災につながる取り組み

らいふく自治会 防災の集い

幾世橋住宅団地のらいふく自治会では、防災をテーマにした交流会を開催しました。

9月1日が防災の日のため、その週末に開催しようと、2ヶ月前より計画を進めてきました。会場は今年度春に完成した幾世橋防災コミュニティセンターです。町の防災安全係よりハザードマップの説明を聴き、警戒レベルに合わせて自身はどんな行動をとるか意見を出し合いました。

「日頃から防災無線を気にしておく」

「ペットと一緒に行動するため、早めに避難しようと思う」

「近隣の高齢者に、いざという時の移動はどうするかを聞いておく」など、同じ住宅に居住している皆さんだからこそ出る具体的な意見が飛び交っていました。

「初めてコミュニティセンターに来た」という方が多数だったため、室内をひと通り見学し、設備や備品を確認しました。“知る”ことで、緊急避難場所を身近に感じることができます。

最後は皆さんでお弁当を食べ、交流を図りました。黙食ではありますが、ご近所の皆さん同士で顔を見ながら食事をする事で、ゆるやかにつながりが育まれ、このような会を定期的に行うことでいざという時の自助・共助に大いに役立つのではないのでしょうか。



幾世橋地区 防災へつなげる居住者確認

幾世橋地区区長会の議題として以前から挙がっていた「居住者の防災に向けて」1回目の話し合いが7月におこなわれました。

現在は集合住宅に居住する住民も多く、町内の小中学校やこども園があるなど、様々な災害への備えが必要な幾世橋地区。町の防災安全係と幾世橋地区区長会が協働し、住民の把握から動くこととなりました。今後は、災害時に活用するマップ作成などへ向けた動きが始まっています。



▲幾世橋地区区長会と町の防災安全係が協働で進めています

権現堂1区 住民顔合わせ会

「まずは顔合わせの場をつくりたい」と、佐藤秀三区長（権現堂1区）が、住民顔合わせ会を開催されました。

開催への周知として、居住している方々（約100世帯）に訪問とポスティングでチラシを配布したところ、当日は21名の参加がありました。初めに区長から挨拶の後、参加者の自己紹介がありました。その後の懇談で「高齢で一人では逃げられない」「ペットも避難所へ連れて行けるのか？」など災害時の対応や課題について多く声があがりました。今後、防災の集いなどへつながる動きを感じました。



▲住んでいる地域の課題など意見交換を行いました

町の動きを紹介します！

～今回は盆踊りについて～

八坂神社の盆踊り

7月23日、樋渡・牛渡行政区の夏の風物詩だった盆踊りが12年ぶりに開催されました。遠方からも足を運んでもらえるよう昼間の開催となりましたが、地域の伝統行事復活を喜び、町内外から約40名の方々が参加されました。晴天の中、地域の方によるお囃子に合わせて、子どもからお年寄りまでが同じ輪になって踊りました。櫓を囲む輪も次第に大きくなっていきました。



国玉神社の遷宮祭と盆踊り

川添にある国玉神社は東日本大震災で被災しましたが、令和元年から氏子を中心とした再建委員会が神社の再建に尽力し、今年5月完成。

例大祭が催されていた7月17日に合わせ、落成式となる遷宮祭が無事に行われました。国玉神社を拠点に活動している川添芸能保存会による神楽も、震災以来の奉納となりました。

お盆の8月14日には、12年ぶりとなる盆踊りが開催されました。遠方に避難している方などが駆け付け、再会を喜ぶ姿があちこちで見られました。現役・OBの芸能保存会が奏でお囃子に合わせ、初めて踊る人も見よう見まねで踊り、徐々に輪が増え、最後は来場した皆さんの大きな輪ができました。



なみえ盆踊り祭り

8月20日、保護者有志や町内企業・団体に結成されたお祭り実行委員会主催による盆踊りが、なみえ創成小中学校にて開催されました。校庭には幾世橋で使われていた櫓が組み立てられ、会場内にはワークショップや縁日などが準備されました。当日は悪天候の為、急きょ屋内の体育館で実施されましたが、児童や保護者、近隣住民など200名近くの参加者で賑わいました。川添芸能保存会のお囃子に合わせ、初めての盆踊りを楽しむ子ども達の姿が印象的でした。



なみえのいま 第9号（令和4年10月） 発行・編集 一般社団法人まちづくりなみえ 町内コミュニティ再生支援事業
〒979-1521 浪江町権現堂字塚越2-10 Tel：0240-23-7530 Fax：0240-23-7531 HP：http://www.mdnamie.jp/

当事業の活動広報誌「なみえのいま」は年度内2回（10月と3月）発行しています。
バックナンバーはホームページに掲載しており、QRコードを読み取ることでアクセスできます。
また、道の駅なみえ等にも配置しています。



QRコードは
こちら



第1号
H30.11発行



第2号
H31.3発行



第3号
R1.10発行



第4号
R2.3発行



第5号
R2.10発行



第6号
R3.3発行



第7号
R3.10発行



第8号
R4.3発行